

CLS Tools Gantt Chart - FAQ

CLS Tools Gantt Chart - FAQ

- Q1. ガントチャートとして表示したオブジェクトのName項目が自動採番で分かりづらい。良い方法はないか？
- Q2. 「ヘッダ項目1」にレコードタイプによって空白文字をName項目値に付加する数式項目を指定したがインデントが表示されない。なぜか？
- Q3. サイドヘッダに表示する内容を6項目以上にしたい
- Q4. 終了日時を過ぎても完了していないタスクの色を赤く変更したい
- Q5. タスクの並び順を変更したい
- Q6. ガントタスクの進捗率を変更した際にサイドヘッダに表示している色を変えるフローを作成したが、再読み込みするまで色が変わらない。すぐに変更できないか？
- Q7. サイドヘッダに表示する項目が少ないので、チャートの方をもっと広くしたい
- Q8. 現在のタスクの状況をガントチャートで確認できるのはわかったが、予定されていた期間との違いも確認できるようにしたい
- Q9. 現在のタスクの状況をガントチャートで確認できるのはわかったが、たとえば先月からの状況の変化を確認したい
- Q10. 日時ではなく日付で期間を管理したい
- Q11. ガントタスクを作成する際、ガントグループを指定するが、似たグループ名が多数存在し、上手く選択できない
- Q12. ガントチャート上から承認申請を行いたい
- Q13. タスクがアサインされたユーザに通知を行いたい
- Q14. Salesforceの提供する「活動」をガントチャートとして表示したい
- Q15. タスクを複数階層もてるようにしたい
- Q16. 複数のプロジェクトで同じパターンのタスクの組み合わせを利用するが、プロジェクト発生の都度、たくさんのタスクを登録するのは面倒だ

Q1. ガントチャートとして表示したオブジェクトのName項目が自動採番で分かりづらい。良い方法はないか？

Answer:

「ガントチャート設定」の「ヘッダ項目1」に指定された項目の値をガントタスクのタイトルとして使用できません。

任意の項目をご指定ください。必ず値が設定される項目となるようにオブジェクト設定の調整をお願いします。

Q2. 「ヘッダ項目1」にレコードタイプによって空白文字をName項目値に付加する数式項目を指定したがインデントが表示されない。なぜか？

Answer:

空白文字はブラウザの特性上省略されてしまいます。「・」や「>」のような文字でインデントを取るようになっています。

Q3. サイドヘッダに表示する内容を6項目以上にしたい

Answer:

数式項目での情報の結合をご確認ください。

例えば「開始日時」と「終了日時」を結合する数式項目「期間」を用意し、これをサイドヘッダの1項目と指定することで1つの項目で2つの情報を表示できます。

あまり情報が長くならないように、例えば期間情報の場合、西暦や時間情報を削るなどを行うとよいでしょう。

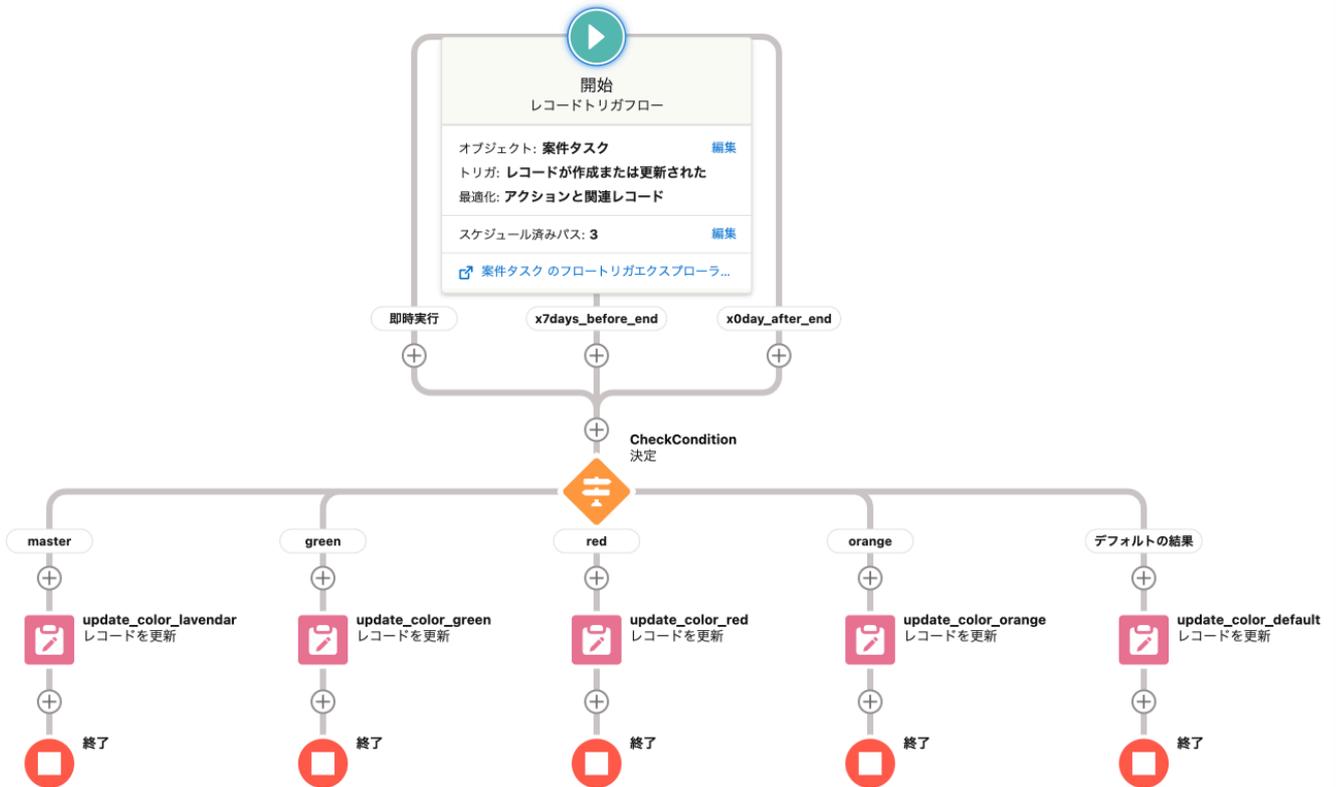
Q4. 終了日時を過ぎても完了していないタスクの色を赤く変更したい

Answer:

時間ベースフローやスケジュールされたBatch Apex等で終了日時を迎え、完了していないガントタスクの色項目の値を「red」に変更します。

更新時にも同様に条件に合わせ色を変更するようにすると良いでしょう。

以下のようなレコードトリガフローを用意すると良いでしょう。



詳細は弊社サポート (support@clstairs.com) までお問い合わせください。

Q5. タスクの並び順を変更したい

Answer:

CLS Tools GanttChartでは、ガントグループの並び順が主項目（通常はName）で評価された後、ガントタスクの開始日時が早いもの>終了日時が遅いもの>ヘッダ項目1の値の文字コードの順で評価決定されます。

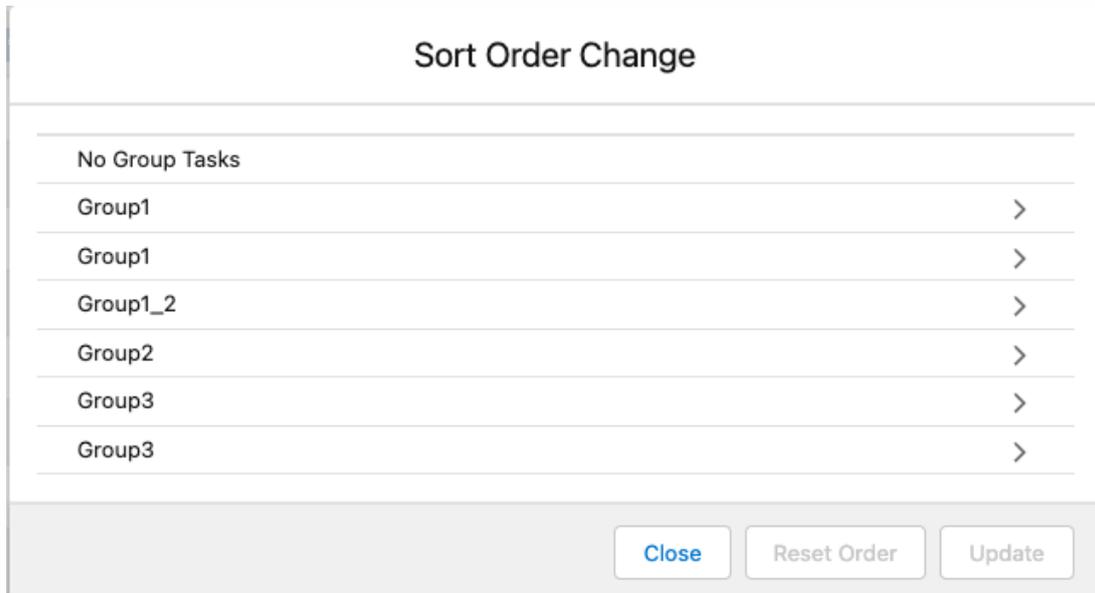
「グループ項目：ソート順（GroupSortOrderField）」が指定されている場合、ガントグループの並び順が、「ソート項目（SortField）」が指定されている場合、ガントタスクの並び順が、この項目値により最初に評価されます。

「並び順変更メニューを表示する（ShowChangeSortOrderMenu）」にチェックを行うと右上メニューに「並び順変更」メニューボタンが表示されます。

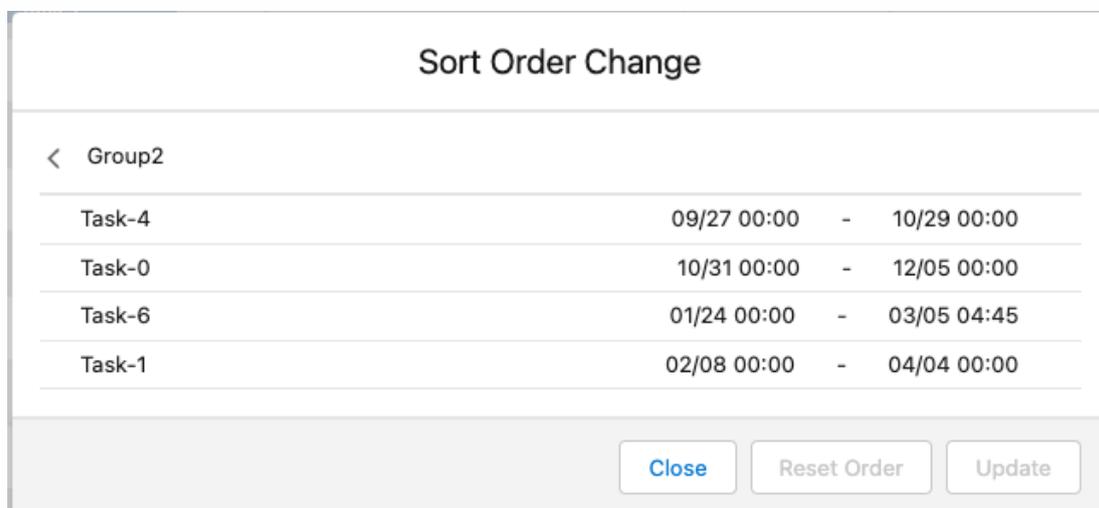
このボタンから「並び順変更」ダイアログが表示され、ガントグループおよびガントタスクの並び順を画面上から変更できます。

「ソート項目（SortField）」の更新権限を持たない場合、変更はできません。ご注意ください。

グループの並び替え：



グループ内のタスクの並べ替え：



Q6. ガントタスクの進捗率を変更した際にサイドヘッダに表示している色を変えるフローを作成したが、再読み込みするまで色が変わらない。すぐに変更できないか？

Answer:

ガントチャート設定のオプション：「進捗率変更でリフレッシュ (RefreshOnChangeProgress)」にチェックを付けてください。

タスクバーج上のプログレスハンドルを使用した進捗率変更とともに情報が再読み込まれます。

ガントチャート設定のオプション：「リレーション変更でリフレッシュ (RefreshOnChangeRelation)」もごさいます。こちらはタスク間の関係線を引いた際に自動で再読み込みするようになるものです。

Salesforce上でのフローやトリガの設定に併せてご利用ください。

Q7. サイドヘッダに表示する項目が少ないので、チャートの方をもっと広くしたい

Answer:

CLS Tools GanttChartでは、サイドヘッダに表示する項目数やブラウザの表示幅に応じてサイドヘッダの占める幅を自動で調整しています。

しかし、表示内容までは評価できず、広い画面が利用可能な場合や、サイドヘッダに指定した項目の内容によっては自動調整では不十分な場合もあります。

そのような場合には、ガントチャート設定のオプション：「サイドヘッダのサイズ (SideHeaderSize)」をご利用ください。

あるいは、ガントチャート設定のオプション：「デフォルトでサイドヘッダを折りたたむ (Collapse Side Header)」にチェックをつけることで、初期表示でサイドヘッダに「ヘッダ項目1」と「任命先」の2項目にすることができます。

右上メのニューから「サイドヘッダを折りたたむ」、「サイドヘッダを展開」を行うことも可能です。

Q8. 現在のタスクの状況をガントチャートで確認できるのはわかったが、予定されていた期間との違いも確認できるようにしたい

Answer:

Version 2.2以降をご利用ください。

ガントタスクの対象としているオブジェクトに日時情報を2つ追加し、ガントチャート設定の「計画開始日時項目 (Planned StartValueField)」と「計画終了日時項目 (Planned EndValueField)」に項目を指定してください。

タスクバー上部に灰色のラインで期間情報を表示します。

「計画」された期間を設定することで比較が容易になります。

この「期間」はチャート上からは変更できません。コンパクトビューあるいは対象オブジェクトのレコード詳細ページから編集してください。

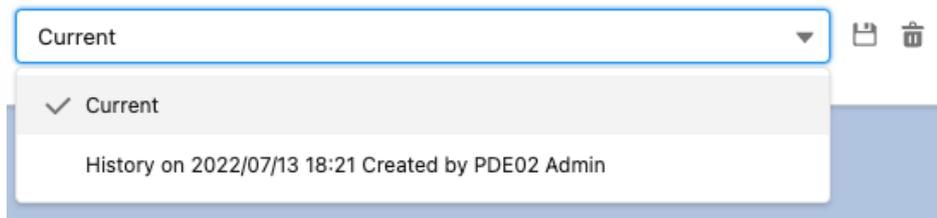
Q9. 現在のタスクの状況をガントチャートで確認できるのはわかったが、たとえば先月からの状況の変化を確認したい

Answer:

右上のメニューから「印刷用に表示」を選択いただき、その内容をPDF等で保存いただくことができます。

また、Version 2.2からはガントチャート設定のオプション：「履歴をサポートする (Support History)」をご利用可能です。

このオプションにチェックをつけるとガントチャート下部に履歴を保存・削除するためのボタン及び履歴の選択リストが表示されます。



履歴を選択することで、履歴作成時点でのガントチャートを表示します。

履歴表示時には、編集およびコンパクトダイアログ（タスクバーのクリック）はサポートされません。

「印刷用に表示」機能を使用するなど別Windowで情報を表示し、最新のものと比較することが可能です。

履歴を「保存・削除」できるユーザは、カスタム権限「GanttChartHistoryManage」を持つユーザのみに限定されます。

このカスタム権限は権限セット「CLS_GanttChartManager」に割り当てられています。

その他のユーザにはプロファイルや別途権限セットを作成するなどしてカスタム権限を割り当ててください。

Q10. 日時ではなく日付で期間を管理したい

Answer:

申し訳ございません。現在は日時項目のみを開始日時・終了日時に指定可能となっています。

フローやトリガを利用し、保存時に値を丸めるようにしていただければと思います。

フローにおける丸め処理の数式例

開始日時→開始日

```
DATETIMEVALUE( TEXT(YEAR(DATEVALUE($Record.StartDateTime__c))) & "-" &  
TEXT(MONTH(DATEVALUE($Record.StartDateTime__c))) & "-" &  
TEXT(DAY(DATEVALUE($Record.StartDateTime__c))) & " 00:00:00T9:00") - (9/24)
```

終了日時→終了日

```
DATETIMEVALUE( TEXT(YEAR(DATEVALUE($Record.EndDateTime__c))) & "-" &  
TEXT(MONTH(DATEVALUE($Record.EndDateTime__c))) & "-" &  
TEXT(DAY(DATEVALUE($Record.EndDateTime__c))) & " 00:00:00" ) - (9/24)
```

終了日時については終了日翌日午前0:00に変更するようにします。

「-(9/24)」はタイムゾーンの影響の調整です。

また、「ガントチャート設定」の「許可されたビューモード」で「選択済み」として「日・週・月・四半期」を設定し「6時間・12時間」のビューモードを非表示にします。

サイドヘッダに開始日時及び終了日時を配置する際には、丸め処理された日付文字列を出力する数式項目を用意し指定します。

既存データが日付項目で管理されている場合、別途日時項目を作成し、値をコピーしてください。

既存の他機能、システム連係との整合性を担保するため、新規日時項目から既存日付項目へのコピーを行うフロー・トリガも用意します。

ご要望もあり、「日付型」項目を開始日時・終了日時項目に指定できるような改修を検討していますが、影響範囲が大きいため現時点では見合わせています。

今後の開発をお待ち下さい。

Q11. ガントタスクを作成する際、ガントグループを指定するが、似たグループ名が多数存在し、上手く選択できない

Answer:

ガントタスクの対象オブジェクトのグループ項目に同じプロジェクト配下のグループのみが選択できるようにフィルタを追加します。

ガントグループの対象は必ずしもプロジェクトへの参照関係を保つ必要はありませんが、可能なのであれば追加をおすすめいたします。

また、チャート上で右クリックで表示されるコンテキストメニューから新規作成を行った場合、クリック位置から上の最も近いグループが自動で設定された状態で新規ダイアログが開きます。

独自のコンポーネントを作成している場合にも情報は引き渡されますが、反映には適切な実装が必要になります。

Q12. ガントチャート上から承認申請を行いたい

Answer:

ガントチャート設定に関連する「GanttChartAction」レコードを登録します。

GanttChartActionの新規画面で「Custom Action」に「CLS_Base.CLS_SubmitApprovalAction」を選択し、必要項目を入力し保存します。



The screenshot shows a configuration form for a Gantt Chart Action. The form is titled "新規" (New). It has the following fields and controls:

- アクション名** (Action Name): Text input field containing "承認申請" (Approval Request).
- ガントチャート設定** (Gantt Chart Settings): Dropdown menu showing "案件タスク" (Case Task).
- Custom Action**: Dropdown menu showing "CLS_Base.CLS_SubmitApprovalAction".
- 成功時にリフレッシュ** (Refresh on Success): A checkbox that is currently unchecked.
- ソート順** (Sort Order): An empty text input field.
- Buttons**: "キャンセル" (Cancel) and "保存" (Save) buttons at the bottom.

この設定を行うことでコンパクトビューに「承認申請」アクションボタンが追加されます。

この他、ApexでCLS_Base.CLS_CustomActionInterfaceVxインターフェースを実装することでガントタスクに対する任意のアクションを開発・追加することができます。

Q13. タスクがアサインされたユーザーに通知を行いたい

Answer:

製品機能としての通知機能はございません。

ガントタスクの対象オブジェクトにフローやトリガを用意し、カスタム通知、メール通知等、任意の手段でアサインを通知してください。

Q14. Salesforceの提供する「活動」をガントチャートとして表示したい

Answer:

標準で提供される行動 (Event) オブジェクトを「オブジェクト種別」に指定してください。

「プロジェクト項目」として「WhatId」を、「プロジェクト項目：オブジェクト種別」に任意のオブジェクトを指定することで

指定したオブジェクトの特定レコードの行動をガントチャート化することができます。

TODO (Task) は日時項目を1つしか持たないので、通常は「ガントイベント」として指定すると良いでしょう。

あるいは開始日時をカスタム項目として持つと良いと思われます。

※CLS Tools GanttChartでのタスクが「Event」、イベントが「Task」となりますのでご注意ください。

活動系オブジェクトをガントタスクの対象として指定した場合、「関係線」表示機能は使用できません。これは両オブジェクトがカスタム参照項目の参照先として指定できないためです。

また、これらの活動系オブジェクトはコンパクトレイアウトを持たないため、コンパクトビューの表示のために項目セット「CLS_Gantt_FieldSet」を利用します。設定箇所が異なりますのでご注意ください。

Q15. タスクを複数階層もてるようにしたい

Answer:

CLS Tools GanttChartでは基本的には プロジェクト>ガントグループ>ガントタスク の3階層を管理します。

ガントグループをさらにグルーピングする「エピックラベル」というものもありますが、仮想的なものです。

ガントタスクをさらに階層化するには少々工夫が必要です。

別途、設定例をまとめた資料「CLS Tools Gantt Chart - 設定例：ガントタスクを階層化する」(CLSToolsGanttChart_MultiLabelSample_202207)を用意いたしましたので、ぜひご確認ください。

Q16. 複数のプロジェクトで同じパターンのタスクの組み合わせを利用するが、プロジェクト発生都度、たくさんのタスクを登録するのは面倒だ

Answer:

いくつかのテンプレートプロジェクトを用意し、予めいくつかのタスクを登録しておきます。

新規にプロジェクトが発生した場合、ベースとするテンプレートプロジェクトを開き、そのプロジェクトのすべてのタスクあるいは、ガントグループを指定し、新規のプロジェクトへコピーを行うことができます。

また、同様に実行したプロジェクトから、別の空のプロジェクトにコピーを行い、テンプレートプロジェクトとする運用も考えられます。